

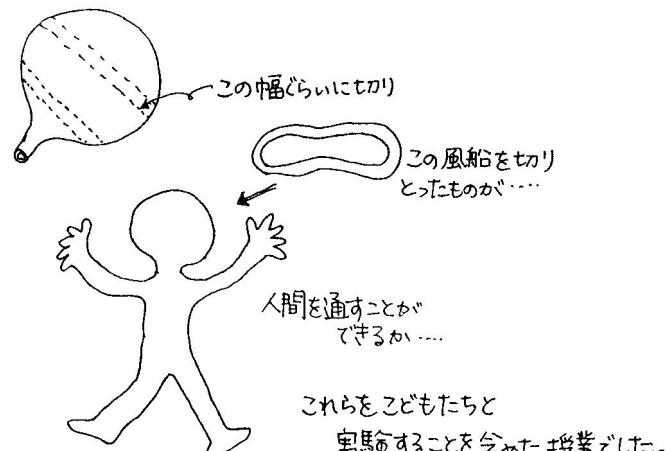


・小学校部会 & 健康教育部会合同

・理科3年 <風とゴムのはたらき>

研究授業として取り組んだ様子の報告と、指導案の紹介をしてもらいました。

教材としては、とてもくだらない内容なので、いかに楽しくするかを工夫したものです。1つ紹介すると、「ゴムばのびる」というあたり前なことを……。



子どもたちも、よろこんでいたようでした。



Poche通信

NO.5

学期末の忙しい時も、集まって学びだい～！

「これ、誰のあと？」

パン、パン、パンパンパンパンパン… 「これ、誰のあと？」
(何のリズムを手でたたいて)

と言います。そのあと、A,B,C…(その場にいた人たち)の中から、初めて声を出した人が「Bさんだ」とします。この音は、Bさんの音になります。

・算数パズル

パズルを紹介してもらいました。

次回は恒例のポッケ夏の講座です。

8/26(水) ものづくり+講演です。

・アタマジラミの話

フル前頃から、1,2人の子どもたちにアタマジラミが見つかってお話をありました。お薬を使って駆除してもらいたいことだ。安心していましたが、学校でひとりひとりの頭をかき分けて見る事も、難しい昔今、担任の先生に机間巡回等で見てほしいとお原意していました。

しかし、フルも終わりに近づいたある日、おうちの方よりTELがあり、アタマジラミを妹の頭から見つかったとの、お兄ちゃんにも…。お母さんと話した結果、放課後、お兄ちゃんの頭をねとお母さんで調べる事に。

結果、3cmくらいの成虫+多量の卵を発見。耳の生えぎわあたりに多く、これでは、

机間巡回では発見できないと実感し、保護者向かいで、再度アタマジラミについて保健によりを書き、子どもの場合、頭をくっつけて近寄ることを教えることも多く、清潔にして、アタマジラミは成虫が死なない限り、継ぐ事を伝え、家庭で発見してもらえないかなどのお知らせをしたお話をしました。

詳しくは裏面を見て下さい。